

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

絆

きずな

第73号 3月号
購読料1部100円
(会員は会費に含まれています)



発行所：社団法人日本自閉症協会奈良県支部 編集人：穴戸良朗
支部長&事務局：河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10
TEL&FAX 0743-55-2763

URL: <http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

スペシャルオリンピックについて

スペシャルオリンピック {S. O} をご存じでしょうか。私達は、昨年5月に奈良でS. Oを立ち上げたいと準備会を設立しました。スペシャルオリンピックとは知的発達障害のある人達 {S. Oではアスリートとよんでいます} の自立と社会参加の機会を提供する国際的なスポーツ組織です。本部はアメリカワシントンD. Cにあり世界の160カ国が加盟し125万人のアスリートと100万人を越えるボランティアが参加しています。日本では、23都道府県地区組織は設立され7県で設立準備会ができています。

私達は私達の住む奈良県を47番目にはしたくないと活動を始めました。が、奈良では未だスペシャルオリンピックの知名度は低く、スペシャルオリンピックを知っていただくことからのスタートです。スペシャルオリンピックの最も大切な活動は地区ごとに行われる日常的なスポーツトレーニング・プログラムです。アスリートの住む地域の施設を会場に同じ住むボランティアは運営、コーチなどを務めアスリートたちとスポーツを楽しむプログラムは基本方針です。プログラム通りにアスリートはチャレンジする勇気を身につけ、達成する喜びを知ります。又、ボランティアと仲良くすることで彼らの世界は広

がり、地域社会にふれあう機会を得ます。ボランティアもアスリート達と接することで知的発達障害に対する理解を深めながら人として大切な多くの事を学び、地域社会もアスリート達を普通に当たり前に受け入れていくことになります。

このような活動をしているスペシャルオリンピックに私達も参加しアスリート、ファミリー、ボランティアが輪になってスポーツを通して可能性を求めてみたいと思います。奈良では水泳のプログラムからスタートします。

◎お問い合わせ…0742(23)9572
〈TEL. FAX〉伊知地までご連絡下さい。

載せていただきたい原稿は伊知地さんからお手紙でいただきました。本来なら、思いが感じられるこのお手紙をそのまま投稿したい気持ちです。

「家の子は無理と思わず、重度、軽度関係なく参加できる活動だと言えます。そのご理解をしていただけるには、どのような形が必要なのでしょう？」

楽しんだ時の我が子の笑顔によって私達も癒されてますよね。そんな機会を増やしたいと願います。

—金本—

自閉症児者の生活支援と家族交流事業の完了

平成15年度、社会福祉・医療事業団（現独立行政法人福祉医療機構）の助成事業として奈良県支部は自閉症児者生活支援講座6回と、2カ所の生活支援家族交流キャンプおよび、スペシャルオリンピックスの映画ableを行いました。

事業の目的は、自閉症児者の生活支援・就労余暇支援の問題を本人・家族・支援者がともに学び考えることで、奈良県の福祉向上と地域社会への自閉症理解を深める。また、孤立化しやすい自閉症児者を抱える家族の結束

を深める。自閉症児者の支援者としての資質向上を図り、自閉症児者が社会参加しやすい環境づくりをすすめる。ことでした。

事業の企画および運営のすべて会員の皆様のご努力によって実施され、無事に終了することができました。特に今回は会員外の多くの参加者がありました。あらためてお礼を申し上げます。

現在、事務局では助成先への事業完了報告書の作成を行っているところです。今回の事業の成果や課題、問題点などお気づきのことがありましたら事務局までお知らせください。（河村）

案 内

（社）日本自閉症協会第18回大会

in 静岡開催案内

日 程：

2004年7月24日（土）～25日（日）

場 所：

アクトシティー浜松

（静岡県浜松市／新幹線浜松駅前）

主な内容：

大会・式典 9つのテーマによる分科会

記念講演（エリックショプラー氏）

詳 細：

案内・プログラム

託児、交流会、申し込み方法

◎ Eメール、FAX、ハガキのいずれかで、お申込者全員のお名前（ふりがな）、郵便番号、ご住所、電話番号を、次までお知らせください。

◎申し込みの連絡をいただきますと、JTBより詳しい案内と詳細の申し込み用紙などをお送りします。詳細の申し込み用紙には、1日だけの参加か、2日間参加されるか、託児利用のご希望、交流会の参加希望、参加したい分科会のご希望などにつきまして、再度申し込みいただきます。詳細の申し込みと、費用のお支払いをいただき、申し込み手続きが

完結いたしますので、ご承知おきください。

【申込み窓口】

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-18 永和ビル4階

JTB東京新宿西口支店

「第18回日本自閉症協会全国大会」係

担当：輪島、猪股、櫻井

（電 話）

03-3343-6665

（FAX）03-3343-2497

（E-mail）shinnishibun_pn1091@syt.jtb.co.jp

◎FAXによる申し込み用紙（この用紙以外でも必要事項が記載されていれば構いません）◎メールによる申し込みシステム（一人分の申し込みに対応しております。複数の方の参加申し込みをされる場合は、別途作成してください。特に、決められたフォームはありません。）

◎申込み多数の場合は、受付を締め切る場合がありますので、お早めにお申し込みください。



案 内

文部科学省ガイドライン（試案）発表
文部科学省より「小・中学校におけるLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン（試案）」が公表されました。このガイドライン（試案）の冊子は4万部印刷され、その配布先は、各都道府県・市町村教育委員会、全国の小・中学校、盲・聾・養護学校、特殊教育センター、厚生労働省関係部局、各都道府県福祉・医療部局等となっています。（当HPの『各種資料』

の「教育関係情報など」からもダウンロード出来ます。尚、協会本部より全国の47支部事務局宛に1冊ずつ郵送します。）

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/16/01/04013002/017.pdf

↑ここを、右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択すれば、ISDN回線の速度でも、1分以内で一括ダウンロード可能です。なお、このPDFファイルのサイズは、625KBです。



シンポジウム「自閉症・アスペルガー症候群の理解のために」は東京会場 3／7長崎会場 3／27ともに定員に達し締め切り済みです。

◆開催趣旨

昨年7月に発生した長崎男児殺害事件での被害者のご家族や関係の方々にもたらした深い悲しみと怒りは、私たちが容易に想像することのできるようなものでは到底ありません。社会にも大きな衝撃を与えました。報道は犯人の12歳の少年がアスペルガー症候群だと伝えました。そして報道を目にした同様の障害のある本人と家族の多くは、同時にまた違った立場で悲しみ、苦しみ、そして大きな不安に包まれました。

アスペルガー症候群と犯罪の直接的な関連を立証したものはありません。むしろ彼ら特

有の社会性の障害のために、自身が犯罪被害者になりやすいという実態があるほどです。この不幸で悲しい事件は、アスペルガー症候群の人たちへの社会的な支援体制の未整備を、関係者をはじめ社会一般に明らかにするきっかけともなりました。

私たち日本自閉症協会は、このアスペルガー症候群の人たちを正しく理解し、彼らの健やかな成長と、地域での共に安全で充実した暮らしを実現するために、本人とその家族にどのような支えが必要なのかを今改めて考えることが重要だと考えました。医療、心理、教育、福祉、メディア、法律など、分野を超えてそれぞれの立場からの発言をいただき、ご参加いただくみなさま方と共に考えたいと思います。

講演 杉山登志郎 東京 山崎晃資 長崎



藤原さんからのお便り

2月22日（日）上牧町保健福祉センターで知的障害のある人たちのファッションショー「世界に1つだけのステージ」が開かれました。美穂はモデルとして参加しました。浜崎あゆみの曲が流れる中、デザイナー専門学校の生徒さんが作ったドレスを

着て登場。

ヘアーピースを付け、お化粧をした顔はドキドキと喜びの顔でした。

たくさんの方の暖かい声援と拍手に支えられ無事終える事ができました。美穂も私もいい経験をさせていただきました。

療育部 藤原 栄子

福祉情報

＊福祉施設等の情報をまとめました。

○通所授産「オープンスペースあゆみ」

(奈良市中山町)

平成 16 年 4 月開所予定。30 名定員

○入所更生施設「フレンドシップまきば」

(上牧町上牧 900-1)

平成 16 年 4 月開所予定。定員 50 名。

○知的障害者通所授産施設「セルプたいよう」

(山辺郡山添村切幡 1432-1) 定員 30 名

授産科目：

工業用ゴム製品部門 軽作業部門 農作業・リサイクル部門

○身体障害者授産施設「たけのこ園」

平成 16 年 9 月、橿原市飯高町に開所予定。

定員 30 名。めばえの家が母体。15 名ほどの知的障害者に利用の可能性あり。

○通所授産「ひかり園」の分場。

定員 15 名で発志院町に。

○身体障害者療護施設「なかがわ」(中川会)

平成 16 年 4 月開所予定。

奈良市奈良阪町に設立。50 名定員。

○「菅原園」

平成 17 年末に定員は今のまま 80 だが、ショート 10、ALS2、療護通所 (A 型) 10 の予定。

○身体障害者療護施設「どんぐり」

平成 17 年 4 月より 15 人のデイサービスを始める予定

○生駒で 30 人の入所更生施設計画

○「万葉荘園」小規模通所授産施設開設

(香芝市)

授産内容： ペットボトルのリサイクル

平成 17 年度から本格的に開始予定。

○「障害者活動センターふきのとう」

平成 17 年 4 月授産施設開所予定

○入所更生施設「仁優園」(五條)

平成 16 年 4 月開所予定。

入所 50、ショート 5、デイ 10、ALS2。

○「ちいろば園」

平成 16 年度より定員 17 名増員予定

○「御所園」

平成 17 年度より定員 15 名増員予定。

＊他地域の情報

○人材派遣の「スタッフサービス」が内部障害者雇用の特例子会社「スタッフサービス・ビジネスサポート」を全国展開。現在、約 130 名を雇用し、各地の「スタッフサービス」や地方自治体、企業などから事務作業を請け負っている。

＊その他

ETC 車載器購入費の助成

・対象は、身障手帳を持つ本人が運転する場合と重度の身障者または重度の知的障害者の介護者が運転する場合。1 万円助成。12 月 1 日より道路サービス機構

(TEL 03-5458-5569) で受付。先着 15 万人。

療育部からのお知らせ

療育部の会員である二宮さん親子がこの度、NHK教育テレビに登場されます。

放映日時、内容等について二宮さんから連絡がありましたので、お知らせします。

皆さん是非ご覧下さい。

●放送予定日時

4月22日(木) 午後 8:00～8:30

NHK教育テレビ 福祉ネットワーク

「うちの子供は世界一」

1月の初旬、健(たけし)の描いた絵を福祉ネットワークに応募したのがきっかけで取材依頼がありました。健は絵を描くのが好きでいろんな絵を描いています。学校、家庭、奈良県リハビリテーションの三つを撮影しています。

よかったら見て下さい。

療育部活動報告

今年度、最後の療育部会は「エイブル」の上映会を行いました。

出席された居村さんに感想を書いて頂いたので、ご紹介します。

2月19日、療育部のビデオ試写会。

今までチャンスに恵まれず、見ることでできなかった私にとって遠くにいる恋人にやっと会えた！！という感じでした。(ちょっと大げさ…)

始まってみるとアメリカはすごい！！白く大きな家。うらやましい…。そこに訪れたジュン君とゲン君はとても行儀の良い好青年でした。飛行機の中はどうだったのかな。ホームステイの意味は理解できているのかな、いつ帰るかわかっているのかなと我が息子に置きかえ様々な取り越し苦労が頭の中をかけめぐりました。

笑顔の素敵な自閉症のジュン君と優しく繊細なダウン症のゲン君。新しい生活にスムーズ

に移行できたのは以外にも自閉症のジュン君でした。自閉症も意外と捨てたもんじゃないな。なんだか嬉しくなりました。

アメリカでの生活は光り輝いていました。バスケットや乗馬、イルカとのふれあい、クラスメイトや職場の人々との交流、なにもかもが無限の可能性を持っていて、青空までもが日本のものとは違うように感じられました。国籍を越えたノーマライゼーション。新しい挑戦をした幸運は2人の青年の心をのぞいてみたくなりました。電話の中の家族のなつかしい声はホストファミリーとの心暖まる生活に終わりがくることを暗示していました。ひとまわりもふたまわりも精神的にたくましくなった2人は誰にでも等しく『エイブル』＝無限の可能性のあることを、そして自分達は輝く為に生まれてきたんだということを私達に教えてくれました。

—日本の青空も光り輝きますように…—

〈居村直美〉

会員紹介(療育部編)

川合 達也 3才です。主人と私と妹(もうすぐ1才)の4人家族です。

去年の4月からリハビリセンターに母子通園しています。それ迄は3ヶ月程、かしの木園に通っていました。丁度、1年前の頃はかしの木園で泣いて泣いて暴れていました。ようやく落ち着き始めた頃にリハビリセンターに変わったので心配でしたが、そんなに泣く事なくスタートできました。とはいえ感触遊びなど苦手な物も多く、又、初めての事は拒否が強く、泣いて参加できず、私が抱っこしたり、おんぶしたりして、お友達や先生のする事を見るのが精一杯でした。

もうすぐ通い始めて1年になりますが、今は泣く事はほとんどなく、どの内容の保育にも楽

しく参加できる迄になり、「成長したなあ」としみじみ感じています。もちろん、まだまだ課題は山積みですが、達也なりに一步一步進んでいってほしいと思います。

達也だけでなく私も子供への関わり方など周りのお母さんや先生に教えてもらい、とても勉強になっています。又、同じ悩みを持つお母さん達との出会いは、大変心強いものがありました。励ましてもらったり、時には笑いあったり。泣いてばかりいた1年前に比べると私も少しは成長したのかなあと思ったりしています。

これからも親子で一緒に毎日を楽しく過ごしながら、ステップアップしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

川合 奈美

事務局から

支部総会は、前回お知らせしたように2004年4月24日（土）やまと郡山城ホールで行います。詳細は検討中ですが、時間は午後からの予定です。現在、総会に向け各支部で本年度の反省と来年度の計画が話し合われています。役員の変更や組織の見直しなども話題になっていますので、支部強化のため、どしどしご意見を役員までお寄せください。

●堀先生を通じて、大阪市立大学大学院生活科学研究科の傳 力（フ リ）さんがまとめられた修士論文「自閉症者の親亡き後の問題に関する研究～個に応じたライフサイクルの視点から～」が届きました。傳さんは今年度の御杖村の三季館でキャンプボランティアとしても参加された方です。自閉症の問題を今までにない視点で科学する画期的な研究だと思います。今後のご研究に期待するとともに、ぜひとも奈良県支部と繋がりをもっておきたい方です。

●2月29日関西福祉科学大学で、高機能自閉症親の会大阪・奈良合同交流会奈良県高機能自閉症児・者の会「アスカ」設立を記念してがありました。

●2004年5月15日、日本自閉症協会の総

会と、NHKフォーラムが重なっています。

協会本部へは総会のハガキ（いとしご1月号に添付）をNHKフォーラムへは参加申し込みFAX（前回絆に添付）を忘れないようお出してください。

●5月16日第23回つながり祭

（奈良教育大学附属小校内）

●メーリングリストへのお誘い

奈良県支部会員の分布は全県的で、五条・御所・十津川・吉野郡で現在15名の会員がおられます。どうしても部会が奈良県の北部に偏るため参加に不利益な点があります。もし、インターネットに接続可能でしたら、これらの方はぜひメーリングリストにご参加ください。現在750回以上のメールのやりとりが行われており、かなり活発に、つつこんだ論議も交わされています。住む地域に関係なく、同時に情報を得、論議に参加できます。時間にも縛られません。便利なものです。ただ、直接お目にかかってのお話とは、ぬくもりに欠ける点がありますが。支部のML（メーリングリスト）は療育部の田中正司さんに管理して頂いております。

問い合わせは、田中さんか事務局へ



編集後記

いつの間にか3月になってしまいました。お水取りが済むまでは寒いのが奈良。雑木林のウグイスも鳴き声に磨きがかかってきます。支部ニュースについての感想、ご意見等がありましたら、穴戸（0742-49-3855）までか、または、最寄りの支部役員までお願いします。